

学報

2016 年 1 月 Vol. 701



防災訓練を実施（12 月 2 日）

防災訓練を実施	0 1
平成 2 7 年度第 7 回学長記者会見を実施	0 2
岐阜大学井戸「交流の泉」が完成	0 3
山西師範大学（中国）と学術交流協定を締結	0 4
COC+キックオフシンポジウムを開催	0 5
「エコ活動啓発ポスター」の表彰式を実施	0 7
平成 2 7 年度第 8 回学長記者会見を実施	0 8
インド工科大学グワハティ校学長が本学を訪問	0 9
「秋の国際週間」多彩な行事を実施	1 0
叙位・叙勲	1 5
学位授与	1 6
表彰受賞者	1 7
産官学連携の実施状況	1 8
外国人研究者の受け入れ	1 9
メディア掲載一覧	2 0
諸会議	2 4
主要日誌	2 6
人事異動（学内限定）	2 7

防災訓練を実施

本学は、12月2日（水）、大規模災害に係る防災訓練を実施した。

本学では、大規模災害に備え、大規模災害対策マニュアルを整備しているが、その実効性を高めるため、毎年訓練を実施している。

訓練は、震度5弱の地震が発生したことを想定して行い、一次避難場所への避難、対策本部の設置等、教職員一人ひとりが役割を確認しながら取り組んだ。訓練に立ち会っていた岐阜北消防署からの講評では、「これほど大規模な訓練は、県内では岐阜市を除いて外にない。実際に災害が起きた際には、構成員全員が集まる事は困難であることを想定し、一人ひとりが高い意識をもって継続的に訓練を行ってもらいたい」と話があった。

当日は併せて、消火訓練も実施され、参加した教職員、学生が消火器の取り扱い方について学んだ。

本学は、今後とも全学的な防災訓練を計画的に実施し、防災意識を高めていく。



避難訓練の様子



消火訓練の様子

平成27年度第7回学長記者会見を実施

本学は、12月4日（金）、平成27年度第7回学長記者会見を実施した。

会見ではまず、森脇学長が「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）キックオフ シンポジウム」について、「岐阜大学の将来ビジョン」と関連させて概要を説明した。

引き続き、益川地域協学センター長より説明を行った。質疑応答では、記者から多くの質問がされるなど本学の情報を積極的に発信する機会となった。



森脇学長



説明する益川地域協学センター長（右）

第7回発表事項は次のとおり。

- **森脇久隆学長**
概要説明
- **益川地域協学センター長**
「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）キックオフ シンポジウム」開催

岐阜大学井戸「交流の泉」が完成

本学は、12月5日（土）、一般財団法人国際クラブ様から寄附いただいた井戸が図書館前に完成し、記念式典を挙行了した。

今回寄附いただいた井戸は、学生が常に多く集まり、外国人留学生と日本人学生が交流できる場となるよう「交流の泉」と名付けられた。災害時には多くの利用者に水を供給することができる。

記念式典では、森脇学長、寄附者である一般財団法人国際クラブ青山るみ理事長の挨拶に続き、来賓の野田聖子衆議院議員から祝辞があり、井戸の除幕が行われた。除幕の後には、インドネシア留学生による友好・団結の踊りタリインダンで井戸の完成を祝った。

井戸「交流の泉」は、地下98メートルから汲み上げた湧水が前面から御影石をつたわり滝のように流れ、また側面からは左右各2カ所の蛇口より流れるようにしている。また、災害時には大口径の給水口から大量の水を供給することができるようにしている。

参加者からは、学修空間の場である図書館アカデミック・コアとともに、新たな学生の国際交流の場としての利用を期待する声があがった。



森脇学長あいさつ



インドネシア留学生による踊り



除幕の様子

山西師範大学（中国）と学術交流協定を締結

本学教育学部と山西師範大学（中国）は、12月7日（月）、教員養成に関する教員・学生の人材交流及び教育・研究を推進するため、山西師範大学にて学術交流協定を締結した。

山西師範大学は中国山西省臨汾市にあり、学生数約18,000人の教員養成大学である。山西師範大学のチャン・ドンハイ現代物理学研究所長と、本学教育学部理科教育（物理）講座の仲澤教授が、物理学における共同研究を長年行っていたことが縁となり、本協定を締結する運びとなった。

調印式には、山西師範大学からシュー・ヤオウエン副学長、リユー・ヤニン国際部長、シュー・チェンシュイ外国語学部副学部長、チャン・ドンハイ現代物理研究所長ら関係者が出席し、協定書に署名した。また、署名後には関係者による懇談が行われ、互いの大学の特徴や今後の交流予定などについて、活発に意見が交わされた。

調印式後には、大学内の博物館等を視察した後、日本語学部の授業において池谷教育学部長及び仲澤教授が岐阜大学紹介を行い、学生からの様々な質問に答えるなど、和やかに交流が行われた。

本協定の締結により、グローバルな人材育成を行うことを目指し、教員養成に関する様々な教育課題についての研究交流や、教員を目指す学生の交換留学等に取り組んでいく。



調印後、握手を交わすシュー副学長（右）と池谷学部長（左）



調印式の様子

COC+キックオフシンポジウムを開催

本学は、12月9日（水）、平成27年度文部科学省「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）」キックオフシンポジウムを開催した。シンポジウムはCOC+の取組みを紹介し、事業のさらなる推進を目指して行われたもので、大学、自治体、企業関係者など約240名が参加した。

始めに福士理事（学術研究・情報担当）より開会の挨拶があり、次いで来賓挨拶として前文部科学副大臣・衆議院議員 丹羽秀樹氏、文部科学省高等教育局大学改革官 山口良文氏、岐阜県経営者協会副会長・岐阜県インターンシップ推進協議会会長 大松利幸氏より本事業への期待の言葉が寄せられた。

続いて森脇学長より「地域活性化の中核的拠点大学としての岐阜大学」と題した基調講演が行われ、日本及び岐阜県における人口減少等の問題や本学における卒業生の岐阜県就職率等を取り上げ、本学が地域志向人材の育成に取り組むことについての意義を強調した。

次いで益川地域協学センター長よりCOC+の事業紹介が行われ、本学を中心とし、中部学院大学、中部大学、日本福祉大学、岐阜県、（一社）岐阜県経営者協会、（株）十六銀行、（株）大垣共立銀行、（株）マイナビの各事業協働機関が協働して、教育プログラムや企業見学会・サマースクールといった各大学共通プログラム等を実施することにより、学生の地元就職とUターン就職を推進し、地方創生に貢献していくことが述べられた。

続いて本学教育学部4年の久世英貴さんより「インターンシップと出会い」、中部大学生命健康科学部4年の田中恵悟さんより「岐阜での"挑戦", 再び...」と題した発表が行われ、インターンシップを経験することで得られた成果や、岐阜県で働くことについての強い決意が語られた。

その後本学客員教授 ラモス瑠偉氏より「勇気と覚悟（チャレンジ）が地域を変える」と題した特別講演が行われ、地域のリーダーを目指す学生への熱いメッセージが送られた。

最後に江馬理事（教学・附属学校担当）より閉会の挨拶があり、シンポジウムは盛会裏に終了した。



来賓挨拶をする丹羽秀樹氏



来賓挨拶をする山口良文氏



来賓挨拶をする大松利幸氏



基調講演をする森脇学長



事業紹介をする益川地域協学センター長



特別講演をするラモス瑠偉氏（右）

「エコ活動啓発ポスター」の表彰式を実施

本学は、環境問題に対する意識の啓発に役立てることを目的に、「エコ活動啓発ポスター」のデザインを本学教育学部附属小・中学校の児童・生徒に募集した。多数の応募があり、厳正な審査の結果、金賞4作品、銀賞4作品及び銅賞12作品を決定し、その表彰式を12月14日（月）に附属小・中学校で行った。

本学は、十六銀行との間で「岐阜大学と十六銀行との環境保全における連携に関する覚書」を締結しており、本活動はその覚書に基づき実施された連携活動の一環である。このようなポスターの募集企画は、今回で5回目となった。

表彰式には、十六銀行の河口総務部長、安田総務グループ調査役、本学の森脇学長、横山理事（総務・財務担当）、原田附属小・中学校校長、松井附属小学校副校長、水谷附属中学校副校長、杉浦施設環境部長が出席し、受賞した児童・生徒一人ひとりに森脇学長より表彰状が、十六銀行の河口総務部長より副賞が手渡された。また、受賞者に対し、森脇学長からは「作品に込めた思いを、普段の活動でも心がけ、また、その環境保全の活動をまわりの人々にも広めてほしい」、河口総務部長からは「エコに対する熱い思いをこれからも大切にし、社会がより住みやすいものになるよう頑張っていきましょう」と言葉がかけられた。これを受け、原田附属小・中学校校長は、「環境に対する意識を高め、自然・もの・人を大切にする学習・教育をしていきたい」と述べた。

このような活動をとおして、本学は地球温暖化やリサイクルなど環境に対するさらなる意識向上を図るとともに、今後も十六銀行と連携して、より一層地域へ広める環境活動を進めていく。

金賞受賞作品



中学校部門
「STOP 温暖化」



小学校低学年部門
「エアコン けしたかな」



小学校低学年部門
「こまめにけそう」



小学校低学年部門
「つかわないときはぬいておこう」



受賞した児童・生徒との記念撮影

平成27年度第8回学長記者会見を実施

本学は、12月15日（火）、平成27年度第8回学長記者会見を実施した。この会見では、中津川市と岐阜大学との連携に関する包括協定をとりあげ、記者会見に併せて締結式を行った。

この協定は、本学が有する地域志向の教育及び研究を発展させ、多様な分野の研究者と学生が市民・市職員とともに地域課題の解決に向けた活動を行うことや、本学において市職員の研修を行うこと等、地域人材の育成及び地域振興を推進することを目的としている。

これで本学が地方自治体と連携協定を締結するのは13件目となった。

締結にあたり森脇学長は「岐阜大学は都市計画や地域経営に強い。リニア開業に向けたまちづくりの力になれば」と、青山節児 中津川市長は「地域の発展のため、若者の視点を活かした学生の力にも大いに期待したい」と挨拶した。



挨拶する森脇学長



協定締結の様子

第7回発表事項は次のとおり。

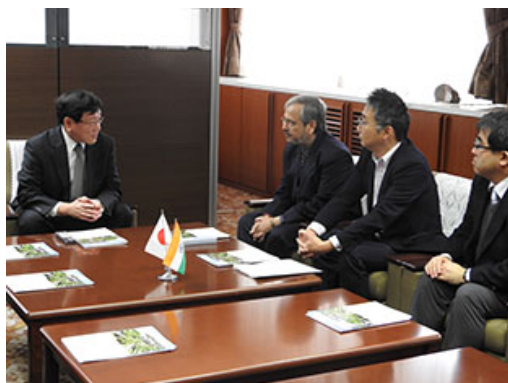
- ・中津川市と岐阜大学との連携に関する包括協定

インド工科大学グワハティ校学長が本学を訪問

インド工科大学グワハティ校（以下、IITG）のガウタム・ビスワス学長が、12月15日（火）、本学を訪問した。学長を表敬訪問され、本学からは、本部から鈴木理事（国際・広報担当）、工学部からは野々村副学部長、嶋教授の2名、応用生物科学部から福井学部長、小山教授、西津教授の3名が同席した。

本学とIITGは、平成27年6月に大学間学術交流協定を締結し、これまでも教員・学生の派遣・受入を行うなど、活発な交流を行ってきた。懇談では、両校が2019年度に導入を目指しているジョイントディグリー（共同学位）制度の導入に向けて、双方で協力しあい、引き続き準備を進めていく方針について確認を行った。

また、今回の訪問に当たり、ビスワス学長は、ご自身の専門分野である計算流体力学及び熱伝導に関する特別講義「膜沸騰時における自由表面流と気泡生成挙動の解析」について講演された。本講義は工学部第一会議室にて開催され、工学部、応用生物科学部を中心とした教職員並びに留学生を含む本学学生や、同時期に開催していたIITGとのウィンタースクール参加者を含めた計80名余りが聴講した。講義では、ご自身の研究内容だけでなく大学教育への思いについても熱弁された。質疑応答でも、講義内容の気泡生成挙動モデルに関する専門的な議論が展開されるなど、本学教職員及び学生にとって非常に有意義な時間となった。



懇談の様子



特別講義を行うビスワス学長

「秋の国際週間」多彩な行事を実施

本学グローバル推進本部は、10月から12月までを「秋の国際月間」と位置づけ、学生及び教職員の国際性を高めることを目標とし、以下の行事を開催した。

1. スペシャル・ラウンジ（11月9日）

スペシャル・ラウンジを大学会館第6集会室にて開催した。これは、本学が毎月実施しているイングリッシュ・ラウンジの特別版であり、年に一度、英語以外の言語に触れる機会を学生及び教職員に提供している。



2. 地元企業との交流会（共催：岐阜信用金庫）（11月11日）

産学連携の枠組みで地元企業を知る機会を提供するため、岐阜信用金庫との共催で、地元企業との交流会を本学生協第2食堂にて開催した。前半のプレゼンテーションと後半の懇親会の二部構成で行われた本交流会には、岐阜市周辺地域の企業15社が参加し、約70名の外国人留学生及び日本人学生が企業説明に熱心に耳を傾けた。



3. 講演会「ASEAN 経済の基礎知識」(共催: JETRO 岐阜)(11月18日)

JETRO 岐阜の手島恵美所長による講演会を全学共通教育棟アクティブ・ラーニング教室にて開催した。講演では、ASEAN 各国の経済状況の違いや特徴、ASEAN 諸国でビジネスを行う利点や留意すべき点等について、様々な統計データや自身の経験談等を交えながら説明があり、学生、教職員及び一般の方々約50名が参加した。



4. ポットラックパーティ(11月27日)

本学の留学生・学生・教職員とその家族らがそれぞれ食べ物を持ち寄り交流するポットラックパーティを柳戸会館集会ホールにて開催し、約40名の参加者があった。参加者は、初めに英語での自己紹介を行い、歓談後、グループに分かれてゲームを行った。このパーティーは、秋の国際月間の一環として毎年開催されており、英語でのコミュニケーションを通じて世界各国の食文化を知る良い機会となっている。今回は中国、イギリス等からの伝統料理やデザートが集まったほか、日本の家庭料理も振る舞われた。



5. ウィンタースクール（12月4日～22日）

学術交流協定大学の一つであるインド工科大学グワハティ校（IITG）との国際協働教育の連携（サンドイッチプログラム、ジョイントディグリープログラム）活性化を視野に入れ、第1回ウィンタースクールを実施した。IITGの学生8名が研究室体験、日本語教育、日本文化体験、地域企業訪問等を行った。



6. 地方創生・外国人留学生交流フォーラム～海外ビジネスに取り組む岐阜の企業～（共催：十六銀行）（12月9日）

十六銀行との共催で「地方創生・外国人留学生交流フォーラム～海外ビジネスに取り組む岐阜の企業～」を図書館1階アカデミック・コアにて開催した。これは本学学生に岐阜県下の企業の特色や、地元企業への就職にどのようなメリットがあるのか等について情報提供をすることを目的として実施したもので、3社が参加しそれぞれ学生に対し講演を行った。当フォーラムには約40名が出席し、講演者の話に熱心に耳を傾けた。



7. 十二単の着装と体験 ―日本の民族衣装―（12月9日）

留学生センターは、グローバル推進本部と共催で、特別講義「十二単の着装と体験 ―日本の民族衣装―」を柳戸会館集会室（和室）において開催した。この講義は昨年続き2回目で、「本物にふれる」という留学生センターのコンセプトに基づき、本学の学生を対象とした日本文化の体験型授業の一環として開催し、留学生センター所属の日本語・日本文化研修コースの留学生をはじめ、本学に在籍する留学生や日本人学生及び教職員、更に今季から始まったウィンタースクールプログラムに参加しているインド工科大学グワハティ校の学生等約50人が参加した。



8. 留学生及び外国人研究者等との学長主催懇談会（12月9日）

森脇学長をはじめとする役員、部局長等と留学生、外国人研究者及びその家族等が一堂に会し、親睦を図ることを目的として懇談会を生協第2食堂にて開催した。余興として、留学生からは歌やダンスのパフォーマンスが披露され、観客を楽しませた。懇談会には約120名が参加し、様々な話題に花を咲かせ交流を深めた。



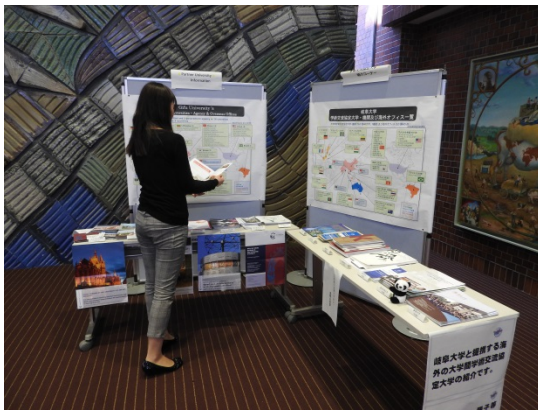
9. 留学報告会「私達の留学の“真実”」（12月16日）

留学生センターは、グローバル推進本部及び工学部グローバル化推進室との共催で、留学報告会「私達の留学の“真実”」を全学共通教育棟3階3D教室において開催した。本会は、留学の体験を報告するだけでなく、留学を希望する学生や留学に関心のある学生に向けて情報を提供することにより留学が身近なものとなり、留学の後押しとなることを願って開催しているもので、12回目となった今回は、日本人学生、教職員等約60名の参加があった。



10. ポスターセッション（11月1日～11月30日）

本学と学術交流協定を締結している海外の大学の紹介を目的として、ポスターセッションを図書館2階のホールにて開催した。会場には、協定大学から取り寄せた冊子、ポスターなどの資料を展示した。



なお、国際月間中には、上述のイベントの他に、グローバル推進本部が月に2回開催しているイングリッシュ・ラウンジや各部局等及び岐阜大学生協と連携した行事等が次のとおり行われた。

- ・ JICA 青年研修「アフリカ／地方行政」受入（10月26日，工学部）
- ・ 留学生を対象とした「柿生産者との交流会」（10月28日，大野町）
- ・ 短期留学報告会（10月28日，工学部）
- ・ イングリッシュ・ラウンジ（11月2日，11月16日，12月7日，アカデミック・コア）
- ・ 世界の料理フェア（11月16日～11月20日，生協第1食堂及び第2食堂）

各行事のアンケートに対する回答も好評で、来年の国際月間の開催を期待する声が多数あった。来年度以降も大学の更なる国際化推進を推し進めるため全学的な取組みとして実施していく。

叙位・叙勲

元本学職員に対し、次のとおり叙位・叙勲がありました。

故 名誉教授（元教育学部教授） 渡 邊 義 行 氏
従四位 瑞宝中綬章（平成27年12月13日）

故 名誉教授（元医学部附属病院長） 稲 田 潔 氏
正四位 （平成28年1月1日）

学位授与

学位の種類	学位記番号	氏名	学位授与年月日	博士論文名 (和訳)
博士（医学）	甲第1001号	やまだ あつこ 山田 敦子	平成27年12月16日	Novel therapy for locally advanced triple-negative breast cancer（局所進行トリプルネガティブ乳癌に対する新規治療）
博士（医学）	甲第1002号	よしだ がくろう 吉田 学郎	平成27年12月16日	Higher plasma prorenin concentration plays a role in the development of coronary artery disease（進行した冠動脈硬化性心疾患と血漿プロレニン濃度上昇との関連）
博士（医学）	甲第1003号	ひがし けんし 東 賢志	平成27年12月16日	MicroRNA-145 repairs infarcted myocardium by accelerating cardiomyocyte autophagy（心筋細胞におけるオートファジー亢進を介したmicroRNA-145による梗塞心筋の修復）
博士（農学）	甲第648号	きたがわ けんじ 喜多川 権士	平成27年12月25日	樹冠構造がスギ・ヒノキ個体の風倒抵抗性に及ぼす影響 （Effect of Crown Structure on the Resistance against Windthrow in Cryptomeria japonica and Chamaecyparis obtusa Stands）
博士（工学）	乙第75号	こばやし たかや 小林 卓哉	平成27年12月31日	非線形構造解析技術の社会的普及に関する研究 （Social dissemination of nonlinear structural simulation technologies）
博士（工学）	乙第76号	びき じえなろ PEQUE GENARO じゅんにあ かんにやす JR CANAS	平成27年12月31日	A multi-agent learning model for computing Nash equilibrium in transportation networks （交通ネットワーク上のナッシュ均衡状態を計算するためのマルチエージェント学習モデル）

表彰受賞者

INNOVATION AWARD WINNERS 2015

受賞者：仲井 朝美 工学部教授

受賞日：平成 27 年 10 月 20 日

ICMIT 2015 BEST Paper Award

受賞者：伊藤 聡 工学部教授

受賞日：平成 27 年 12 月 3 日

ICMIT 2015 BEST Paper Award

受賞者：佐々木 実 工学部教授

受賞日：平成 27 年 12 月 3 日

ICMIT 2015 BEST Paper Award

受賞者：松下 光次郎 工学部教授

受賞日：平成 27 年 12 月 3 日

第 14 回（平成 27 年度）中部科学技術センター顕彰コーディネート賞

受賞者：仲井 朝美 工学部教授

研究題目：プリレグ材のハイブッド成形技術と量産装置の開発

受賞日：平成 27 年 12 月 8 日

産官学連携の実施状況

○共同研究

(平成27年12月契約分)

部局名	研究代表者	企業等名
医学系研究科	原 武 史	日本メジフィジックス(株)
工学部	加 藤 邦 人	川崎重工業(株)
〃	國 枝 稔	大林(株)
〃	仲 井 朝 美	(株)クラレ
〃	仲 井 朝 美	KYB(株)
〃	八 嶋 厚	中日本高速道路(株)/中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋(株)/応用地質(株)
〃	八 嶋 厚	中日本ハイウェイ・エンジニアリング東京(株)
〃	八 嶋 厚	日鐵住金建材(株)
応用生物科学部	西 津 貴 久	亀田製菓(株)
〃	前 澤 重 禮	ぎふ農業協同組合
金型創成技術研究センター	吉 田 佳 典	日立金属(株)

○受託研究

(平成27年12月契約分)

部局名	研究代表者	企業等名
医学系研究科	森 田 啓 之	国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構
医学部附属病院	仲 野 正 博	公益財団法人先端医療振興財団
工学部	北 出 幸 夫	国立研究開発法人科学技術振興機構

外国人研究者の受け入れ（12月）

受入部局	氏名 (国名)	所属・職名	期間	研究題目
工学	タルワット モハメド エルシーミ Tharwat Mohamed Elshemey (エジプト)	アレクサンドリア大学 獣医学部 動物医薬品学科 助教 Assistant Professor, Department of Animal Medicine, Faculty of Veterinary Medicine, Alexandria University	2015/12/1～ 2016/5/31	感染症治療薬開発のための遺伝学的研究 Genetic studies towards drug discovery for infectious diseases
工学	ガダ アブデルアティ カメル キレラ Ghada Abdelatty Kamel Kirrella (エジプト)	カフル・エル・シェイク大学 獣医学 部 食品管理学科 講師 Lecturer, Department of Food Control, Faculty of Veterinary Medicine, Kafrelsheikh University	2015/12/18～ 2016/6/24	食肉における薬剤耐性のHPLCによる分析 Identification of drug residues in meat by HPLC

メディア掲載一覧

○新聞

(平成27年12月分)

掲載日	新聞名	内容
12月1日	岐阜	巨大地震テーマ 12日に公開講演 放送大学 ～清流の国ぎふ防災・減災センター 杉戸真太 理事・副学長～
12月1日	岐阜	◎研究室から大学はいま:「蝸牛」の進化過程を解明へ ～応用生物科学部共同獣医学科獣医解剖学分野 齋藤正一郎 准教授～
12月1日	岐阜	岐阜大生, インターンで商品開発 全国発表, 準グランプリ 住田さんの工業用ドリル「仕事の魅力知った」 ～工学部3年 住田 涼 さん～
12月2日	朝日	ドローンで流速測定 水害対応, 長良川で研究会 ～工学部 大橋慶介 助教～
12月3日	岐阜	“再生医療の資源”歯髄細胞 欧州と共同研究へ ～医学系研究科(再生医科学) 手塚建一 准教授～
12月3日	朝日	抜いた親知らず・乳歯 iPS 作製の元に 岐阜大, 細胞バンクづくり ～医学系研究科(再生医科学) 手塚建一 准教授～
12月3日	中日	岐阜大学病院 12月のがん患者サロン ～医学部附属病院～
12月3日	朝日	ポスター批判 地元困惑 美濃加茂市 昨年から連携 「ネットは沸騰する」専門家が指摘 ～総合情報メディアセンター 村瀬康一郎 教授～
12月4日	中日	岐阜大学&県図書館公開講座 楽習会「古典文学のなかの貴族」 ～教育学部 原田敦史 准教授～
12月4日	中日	希望の光 Xマス電飾 岐阜大付属病院 ラモス監督も登場 ～医学部附属病院～
12月4日	朝日	岐阜大付属病院 クリスマス来た 点灯式にラモス監督 ～医学部附属病院～
12月4日	岐阜	ラモス監督, 患者の心に光 X マス電飾に店頭 岐阜大病院 サッカーも披露 ～医学部附属病院～
12月5日	岐阜	岐阜大の地方創生事業紹介 9日にシンポ ～地域協学センター 益川浩一 教授～
12月5日	朝日	インターンシップ成果競い準 V 現場の声集め工具改良成功 海外企業が製造, 来年発売 ～工学部3年 住田 涼さん～
12月6日	岐阜	岐阜大に井戸贈る 国際クラブ「学生の交流の場に」
12月6日	中日	岐阜大・新聞カフェ 子どもの貧困 低所得家庭の進学難 十分な教育受ける改善策は? ～地域科学部 南出吉祥 准教授～

掲載日	新聞名	内容
12月7日	読売	ノケジョ ぐんぐん増加 農学系女子 食・健康に関心 ～応用生物科学部長・全国農学系学部長会議副会長 福井博一 教授～
12月7日	中日	ラモス監督9日講演 岐阜大講堂 地域連携シンポ
12月8日	中日	◎鶴の目：プレゼント ～医学部附属病院～
12月8日	岐阜	◎研究室から大学はいま：水環境リーダーの育成推進 ～流域圏科学研究センター 魏永芬 准教授～
12月8日	中日	岐阜大学シティカレッジプログラム ～生命科学総合研究支援センター 犬房春彦 特任教授～
12月8日	岐阜	友好の太鼓ドドン 岐阜大留学生が岐阜総合学園高訪問
12月9日	中日	広域連携シンポ 岐阜で21日開く ～森脇久隆 学長～
12月10日	読売	県と岐阜大 研究拠点協定 「機能性食品表示」開発へ
12月10日	中日	岐阜大学病院がん患者サロン がん経験者と家族のための就労相談 ～がん相談支援センター～
12月10日	中日	海外で事業展開 地元企業を紹介
12月10日	中日	岐阜大で留学生向けイベント 十二単の着付け体験「色の組み合わせすてき」
12月10日	中日	「恩返し忘れなかった」 ラモス監督 岐阜大で講演
12月10日	朝日	どんなことがあっても諦めるな ラモス先生、岐阜大で初講演
12月10日	読売	若者に地元就職呼びかけ 岐阜大でシンポ 4大学、企業など連携
12月10日	岐阜	若者の県内就職率アップ目指す「産官学連携を推進」 岐阜大シンポ 研究者、学生ら意見
12月11日	中日	親知らずから iPS 細胞 ハンガリーでも研究へ 岐阜大院の手塚准教授 ～医学系研究科 手塚建一 准教授～
12月11日	中日	岐阜大学連合創薬医療情報研究科 ファイトケミカル研究会「医薬品、機能性食品開発に向けて」
12月11日	岐阜	十二単で“平安美人” 岐阜大留学生が着装体験 「動いても着崩れしない」
12月13日	岐阜	◎サンデーコラム：神経堤細胞の出現 脊椎動物誕生を導く ～医学系研究科 國貞隆弘 教授～
12月13日	岐阜	大地震の備え万全に 市民らに呼び掛け ～清流の国ぎふ防災・減災 センター 杉戸真太 理事・副学長～
12月13日	岐阜	地域課題 解決策探る 学生12団体、研究成果報告 ～ネットワーク大学コンソーシアム岐阜～

掲載日	新聞名	内容
12月13日	読売	地域の課題 解決策競う 大学生ら70人, 成果報告会 ～ネットワーク大学コンソーシアム岐阜～
12月14日	岐阜	◎夕閑帳：ピアノ発表会 ～岩田弘敏 名誉教授～
12月15日	岐阜	エコポスターで生徒ら20人表彰 ～教育学部附属小・中学校～
12月15日	岐阜	◎研究室から大学はいま：図鑑にない「生き物の世界」 ～教育学部理科教育講座 三宅 崇 准教授～
12月15日	岐阜	患者らに癒やしの演奏 ～医学部附属病院～
12月16日	岐阜	ファイトケミカルテーマに19日講演 岐阜市で岐阜大 ～連合創薬医療情報研究科～
12月16日	岐阜	岐阜大と中津川市協定 リニアまちづくりで連携
12月16日	岐阜	学術交流協定結ぶインド工科大 岐阜大が共同学位制定 19年度導入方針
12月17日	読売	小川科学技術財団 4分野に助成金 ～工学部 植松美彦 教授～
12月17日	中日	エコポスター 金賞4人決定 岐阜大付属小中生 ～教育学部附属小・中学校～
12月18日	中日	科学技術研究 28件に助成金 ～工学部 植松美彦 教授～
12月18日	岐阜	問屋町再生, 岐阜大生が提案 ポスターや模型で発表 ～工学部 出村嘉史 准教授～
12月19日	読売	若者目線で飛騨牛PR 岐阜大生が活動報告 ～応用生物科学部 加藤聖弥さん～
12月20日	読売	岐阜大と中津川市が人材育成などで協定 ～森脇久隆 学長～
12月21日	岐阜	◎夕閑帳：観光旅行と糖尿病予防 ～岩田弘敏 名誉教授～
12月21日	岐阜	◎教えてホームドクター 帯状疱疹 神経節に潜伏, 合併症予防 ～医学部付属病院皮膚科 水谷陽子 臨床講師～
12月22日	岐阜	◎研究室から大学はいま：「橋の疲労回復」実現目指す ～工学部社会基盤工学科防災コース 木下幸治 准教授～
12月22日	岐阜	人口増で町活性化を 岐阜市でシンポ 地域間の連携探る ～森脇久隆 学長～
12月22日	中日	周辺自治大と役割分担大事 ～森脇久隆 学長～
12月22日	中日	医学生サンタ 室内楽贈る 岐阜大付属病院 患者らに 病院長も 「アナ」熱演 ～医学部付属病院 小倉真治 病院長～
12月23日	岐阜	岐阜大動物病院 建物の安全確認 データ改ざん問題
12月23日	岐阜	生涯学習「知識生かす」 くるるセミナー修了式 ～地域協学センター 益川浩一 センター長～

掲載日	新聞名	内容
12月23日	中日	◎岐阜大・新聞カフェ：主権者教育 近づく選挙権年齢引き下げ 考え深めもら方法は？ ～教育学部社会科教育 田中 伸 准教授～
12月24日	中日	岐阜大の飛騨牛倶楽部が発表会 ～応用生物科学部 斎藤結女さん～
12月24日	中日	岐阜大管弦楽団 定演に500人酔う
12月26日	中日	プラスチック製容器分別 岐阜市全域に拡大へ ～地域科学部 市環境審議会・会長 三井 栄 教授～
12月26日	中日	町づくりなど 岐阜大と協定 中津川市
12月28日	朝日	中山間地活性化 岐大と連携協定 中津川市
12月29日	岐阜	◎研究室から大学はいま：口腔がんの早期発見目指す ～医学部附属病院口腔外科 柴田敏之 教授～
12月30日	岐阜	オオキンケイギクに抗がん作用 特定外来生物，生育域を拡大 「有効利用で駆除に弾み」 ～工学部 瀬瀬 守 教授～

○テレビ・ラジオ

(平成27年12月分)

放送日	番組名	内容
12月8日	NHK 総合 「ほっとイブニング」 18:45～19:00	岐阜大学イベント「十二単の着装と体験 ―日本の民族衣装―」開催の案内

諸 会 議

◇第507回役員会

12月3日（木）

議題

1. 平成27年度執行計画について
2. 株式の寄附について
3. 教育職員の雇用事前協議について

◇第8回授業編成専門委員会

12月7日（月）

議題

1. 平成28年度非常勤講師採用計画について
2. 大学以外の教育施設等における学修の単位認定について
3. 協定大学のサマースクールにおける学修の単位認定について

◇第508回役員会

12月10日（木）

議題

1. 教育職員雇用事前協議について
2. 教育職員雇用申請について
3. 特任教員雇用申請について
4. ポイント外教育職員の配置について

◇第8回部局長・部長会

12月10日（木）

協議事項

1. 職員出向規程の一部改正について

◇第9回教学委員会

12月15日（火）

議題

1. 岐阜大学教養科目に係る「大学以外の教育施設等における学修」の単位認定に関する取扱細則の一部改正について
2. 岐阜大学教養科目に係る協定大学等のサマースクール等における学修の単位認定に関する取扱細則の一部改正について
3. 岐阜大学次世代地域リーダー育成プログラム規程の一部改正について
4. 平成28年度次世代地域リーダー育成プログラム開講科目について
5. 平成27年度秋季入学料及び後期分授業料免除等について
6. 平成28年度岐阜大学授業料及び入学料免除等に関する選考基準実施要領について
7. 平成28年度授業料免除等手続きの日程（案）について
8. 「順次性のある体系的な教育課程の再構築に向けて（ナンバリングの導入）」について

◇第509回役員会

12月17日（木）

議題

1. 応用生物科学部（附属共同獣医学教育開発推進センター）の特任教授配置について
2. 教育職員雇用事前協議について

3. 教育職員雇用申請について
4. 特任教員雇用申請について

◇第142回教育研究評議会

12月17日（木）

議題

1. 年俸制導入に伴う教育職員個人評価制度の見直し（案）について
2. 教育職員報奨制度の導入（案）について
3. 教員組織のあり方について（案）
4. 岐阜大学における経営／マネジメント教育の取組－基本的な考え方－

◇第510回役員会

12月24日（木）

議題

1. 理事就任時の取扱いについて

主要日誌

月 日	行 事 名
12 / 3	第507回役員会
4	第7回学長記者会見
7	第8回授業編成専門委員会
9	看護学科・看護学専攻教授会議（医） 教授会・代議員会（工） 教授会（メディア）
10	第508回役員会 第8回部局長・部長会 国際ジョイントミーティング（工）（～11日まで）
11	代議委員会（連獣）
12	医学系研究科看護学専攻（修士課程）入学試験（第2次）
15	第8回学長記者会見 第9回教学委員会 研究科委員会（連創）
16	教授会・研究科委員会（教・地・応） 医学研究科・医学科教授会議（医）
17	第509回役員会 第142回教育研究評議会
18	代議員会（連農）
22	教授会（生命）
24	第510回役員会 教授会（流域）
28	応用生物科学研究科入学試験（第2次）